

仕様書

1 入札条件

(1) 入札対象物品名・数量

本入札の対象物品は下記の物品とする。

細菌検査システム（詳細は別紙参照）

※運搬、搬入、設置、調整、データ移行費用等を含むこと。

(2) 納入期限

2023 年 9 月 30 日

(3) 納入場所

済生会新潟病院（新潟市西区寺地 280－7）

(4) 保守体制

①保守体制

通常の使用で発生した故障の修理及び定期的保守点検を実施できる体制であること。

②支援体制

年間を通じて 24 時間の連絡ができる体制であり、障害時において復旧のため通報を受けてから、問い合わせに対する回答や故障対応に関するサポートができる体制であること。

③保証期間

納入検査確認後、1 年間は通常の使用により故障した場合、無償修理に応じること。

2 設置条件

(1) 入札後実際の納入期日までにモデルチェンジ等により、対象物品を納入することができなくなった場合には、病院側と協議のうえ後継機種を納入すること。

(2) 取扱説明

①取扱説明に関する教育訓練は、当院が指定する日時、場所で行うこと。

②操作マニュアルは、日本語版を 2 部とする。

3 指定銘柄

入札対象機器は、下記のとおりとする。

メーカー名	商品名	型番等
ベックマン・コールター株式会社	別紙詳細参照	別紙詳細参照

別紙詳細

1 システム詳細

全体の機能、及び、特徴	
1	対応分離菌株数 10 菌株登録が可能なこと
2	感受性薬剤種類数 セット薬剤：1 菌種当たり 60 薬剤以上が登録可能なこと
3	各種コード桁数 菌名、薬剤、材料、科病棟コード等、検査室側は、4 桁。 ホスト対応コードの桁数に関しては、基本 8 桁。例外的に 16 桁まで対応可能なこと
4	パスワード入力管理 システム起動時に、パスワード入力管理が可能なこと
5	材料種別セットの管理機能 取扱材料種別のセットで管理が可能なこと
6	パソコン操作 各入力画面は、マウス、テンキー、及び、ファンクションキーが使用で、作業の効率化する機能があること また、菌名、薬剤名など、各種マスタデータからの選択項目は、コードでの入力、及び、名称による検索選択が可能なこと
7	コメント 全ての結果入力画面において、臨床へのコメントを半角で、最大 1024 文字（全角で 512 文字）を 6 種類作成でき、分離株ごとのコメントも最大 40 文字（全角で 20 文字）登録可能なこと
8	警告菌機能 警告菌機能として、重要な耐性菌、あるいは、特定の菌に対する薬剤耐性情報等により、ワーニングを報知が可能なこと
9	電子カルテシステムと時刻同期をとること
10	保守回線を用意する場合は IP-VPN 網で構築すること 例 病院（上位メーカ）の VPN 管理のもと、参加者として VPN 拠点を追加
11	自動でデータのバックアップが行えること
12	バックアップデータはランサムウェアに影響されない環境に置くこと 例 バックアップ媒体を複数準備し、日次で各々交換する対応を実施など
一般細菌	

個別入力	
1	【基本機能】検体毎の受付、結果の情報を 1 画面にて表示、入力することが可能なこと
2	【表示項目】検体番号、患者 I D、患者名、目的菌、検査依頼項目等が表示できます。また、塗抹、培養、感受性、迅速等の結果が表示可能なこと
3	【入力項目】検体番号、患者 I D、患者名、目的菌、検査依頼項目等が入力できます。また、塗抹、培養、感受性、迅速等の結果入力が可能なこと
4	【検体必須項目機能】予め必須項目を設定しておくことで、ワーニングを表示し、入力漏れを防ぐことが可能なこと
5	【患者マスター機能】登録されている患者データと一致する患者 ID を入力することにより患者マスターからデータを呼び出すことが可能なこと
6	【警告菌機能】警告菌マスターに条件を登録しておき、画面に警告ウィンドウを表示することが可能なこと
7	【連動マスター機能】設定した条件のデータを入力すると、連動して別データも自動でセットすることが可能なこと
8	【前回値】同一の患者 ID の検体データを表示することが可能なこと
9	【画像登録機能】検体毎に画像データを 5 つまで保存可能なこと
10	【報告書機能】表示している検体の報告書を印刷することが可能なこと
11	【判定再計算機能】MIC 値、阻止円より SIR を自動で検索することが可能なこと
12	【菌辞書】登録している菌を辞書により詳細を調べることが可能なこと
13	ワークシートに、FilmArray 肺炎パネルの検査有無を記載が可能なこと 検査結果照会ビューを参照し、材料が喀痰または BAL、かつ、FilmArray 肺炎パネルの項目コード存在有無で判断する。 例：項目コードは、現在連携している「CRP：602133」「WBC：601017」などの項目コードを指す
14	ホスト自動送信が可能なこと 例：日次で、昨日～本日の間または最終報告を自動送信
15	ドライプレートをを用いた感受性検査結果を、パネルビューアイメージで入力可能なこと
進捗・一覧入力	
1	【基本機能】一覧にて検体毎の進捗状況を一覧で表示することが可能なこと
2	【表示項目】検体番号、患者 I D、患者名、目的菌、検査依頼項目等が表示できます。また、塗抹、迅速等の結果が表示可能なこと
3	【報告書機能】一覧より選択している検体の報告書を印刷することが可能なこと

	と
塗抹検査一覧	
1	【基本機能】塗抹の結果を一覧で入力することが可能なこと
培養検査一覧	
1	【基本機能】培養の結果を一覧で入力することが可能なこと
他検査一覧	
1	【基本機能】迅速等の結果を一覧で入力することが可能なこと
帳票印刷	
1	報告書を一括で印刷することが可能なこと
2	ワークシートを一括で印刷することが可能なこと
3	未検査リストを一括で印刷することが可能なこと
4	台帳リストを一括で印刷することが可能なこと
5	医事リストを一括で印刷することが可能なこと
拡張出力	
1	システムの中に収集されたデータ項目を自由に選択、かつ条件を設定し検索集計が可能なこと
2	一度設定した条件は記憶することができ、同じ条件で期間違いの集計を繰り返し行えること
3	受付日別検体数、保険点数が表示可能なこと
4	診療科別検体数、保険点数が表示可能なこと
5	病棟別検体数、保険点数が表示可能なこと
6	任意にカスタマイズしたフォーマットを元に CSV 出力が可能なこと
7	院内感染対策サーベイランス（JANIS）用データが出力可能なこと
8	特注集計：週報 を出力可能なこと。 病院で運用中の週報フォーマットで、自動作成可能なこと。 （現状は Word フォーマットを Excel へ 1 シートで出力できれば可）
抗酸菌	
個別入力	
1	【基本機能】検体毎の受付、結果の情報を 1 画面にて表示、入力することが可能なこと
2	【表示項目】検体番号、患者 ID、患者名、目的菌、検査依頼項目等が表示できます。また、塗抹、培養、感受性、PCR 等の結果が可能なこと
3	【入力項目】検体番号、患者 ID、患者名、目的菌、検査依頼項目等が入力できます。また、塗抹、培養、感受性、迅速等の結果が入力可能なこと
4	【検体必須項目機能】予め必須項目を設定しておくことで、ワーニングを表示

	し、入力漏れを防ぐことが可能なこと
5	【患者マスター機能】登録されている患者データと一致する患者 ID を入力することにより患者マスターからデータを呼び出すことが可能なこと
6	【警告菌機能】警告菌マスターに条件を登録しておき、画面に警告ウィンドウを表示することが可能なこと
7	【連動マスター機能】設定した条件のデータを入力すると、連動して別データも自動でセットすることが可能なこと
8	【前回値】同一の患者 ID の検体データを表示することが可能なこと
9	【画像登録機能】検体毎に画像データを保存が可能なこと
10	【報告書機能】表示している検体の報告書を印刷することが可能なこと
11	個別入力画面で、30℃培養の有無の入力が可能なこと 例：1 エンターキーで、○表示など 入力した値は、削除が可能なこと 抗酸菌リストへ 30℃培養の有無が出力可能なこと 個別画面で登録時に、特定材料の場合、30℃培養の有無を自動的に設定するか確認画面を表示し、OK の場合には、自動設定されること
12	MIC 値入力後、「自動判定」ボタンクリックにより、SIR を自動入力可能なこと。 判定は、「薬剤セット+薬剤」に対して、SIR の閾値を設定可能なこと。
進捗・一覧入力	
1	【基本機能】一覧にて検体毎の進捗状況を一覧で表示することが可能なこと
2	【表示項目】検体番号、患者 ID、患者名、目的菌、検査依頼項目等が表示できます。また、塗抹、PCR 等の結果が表示可能なこと
3	【報告書機能】一覧より選択している検体の報告書を印刷することが可能なこと
塗抹検査一覧	
1	【基本機能】塗抹の結果を一覧で入力することが可能なこと
培養検査一覧	
1	【基本機能】培養の結果を一覧で入力することが可能なこと
他検査一覧	
1	【基本機能】迅速等の結果を一覧で入力することが可能なこと
小川培養一覧	
1	【基本機能】小川培養の結果を一覧で入力することが可能なこと
液体培養検査一覧	
1	【基本機能】液体培養の結果を一覧で入力することが可能なこと

帳票印刷	
1	報告書を一括で印刷することが可能なこと
2	ワークシートを一括で印刷することが可能なこと
3	未検査リストを一括で印刷することが可能なこと
4	台帳リストを一括で印刷することが可能なこと
5	医事リストを一括で印刷することが可能なこと
拡張出力	
1	システムの中に収集されたデータ項目を自由に選択、かつ条件を設定し検索集計が可能なこと
2	一度設定した条件は記憶することが出来、同じ条件で期間違いの集計を繰り返し行えること
3	受付日別検体数、保険点数が表示可能なこと
4	診療科別検体数、保険点数が表示可能なこと
5	病棟別検体数、保険点数が表示可能なこと
6	任意にカスタマイズしたフォーマットを元に CSV 出力が可能なこと
マスタメンテナンス	
1	以下のマスタメンテナンス機能が可能なこと
	【共通】
	診療科
	病 棟
	医 師
	担 当
	材 料
	材料コメント
	材料G
	患者情報
	依頼目的
	基礎疾患
	感染症
	警告菌
	菌辞書 ・菌辞書マスターをコピーして編集が可能なこと、機能使用する または し ない を設定可能なこと ・個別画面からの呼び出しは、「機能使用する」データを表示可能なこと
	菌群統計

	【一般細菌】
	コメント
	薬 剤
	薬剤セット
	菌
	菌群出力
	MIC/円判定
	結 果
	判 定
	他検査
	他検査セット
	保険点数
	目的菌
	耐性菌
	【抗酸菌】
	コメント
	薬 剤
	薬剤セット
	菌
	結 果
	判 定
	他検査
	他検査セット
	保険点数
	T B 陽性
疫学統計ツール	
1	利用可能なブラウザは Microsoft Internet Explorer6 以上で可能なこと
2	期間変更・条件設定が可能なこと
3	【条件設定】 受付日（範囲）、重複条件（期間、材料、科・病棟）、報告日（範囲）、採取日（範囲）、年齢（範囲）、検体番号（範囲）、患者 ID（範囲）、患者名（一部分を含む）、性別（複数選択）、入外区分（複数選択）、診療科（複数選択）、病棟（複数選択）、医師（複数選択）、検査目的（複数選択）、材料（複数選択）、材料コメント（複数選択）、基礎疾患（複数選択）、疑う感染症（複数選択）、一般細菌菌名（複数選択）、パネル（複数選択）、菌量（複数選択）、バイオタイプ、 β ラクタマーゼ、薬剤（複数選択）、SIR（複数選択）で絞込みが可

	能なこと
4	絞込み条件の登録、呼出が可能なこと
5	先月、先週ボタンで受付日の指定が可能なこと
6	菌セットマスターの登録、編集、削除が可能なこと
7	全菌コードを一括登録が可能なこと
8	薬剤セットマスターの登録、編集、削除が可能なこと
9	50 薬剤コードを一括登録が可能なこと
10	統計ツールで抗酸菌を抽出可能なこと (一般細菌とは、別ショートカットで起動)
11	多剤耐性菌条件設定の効率化が可能なこと 例 Excel フォーマットで作成した設定条件を細菌システムの担当 SE が取り込む
検体リスト	
1	並替指定（検体番号、診療科、病棟、材料、入外、菌、受付日、報告日）が可能なこと
2	画面表示・EXCEL 出力が可能なこと
3	【表示項目】受付日、検体番号、患者 ID、患者名、性別、年令、入外区分、診療科、病棟、医師、菌名、菌量が表示可能なこと
4	指定した 50 薬剤までの感受性結果が表示可能なこと
多剤耐性菌リスト	
1	【条件設定】菌名/材料/薬剤と判定の組み合わせ 5 個のセットを複数登録が可能なこと
2	並替指定（検体番号、診療科、病棟、材料、入外、菌、受付日、報告日）が可能なこと
3	画面表示・EXCEL 出力が可能なこと
4	【表示項目】受付日、検体番号、患者 ID、患者名、性別、年令、入外区分、診療科、病棟、医師、菌名、菌量が表示可能なこと
5	指定した 50 薬剤までの感受性結果が表示可能なこと
感受性スペクトル	
1	【条件設定】菌と 50 薬剤までを指定が可能なこと
2	指定した判定値の%と指定した色で結果が表示可能なこと
3	画面表示・EXCEL 出力が可能なこと
4	%の値をクリックすると該当する検体のリストを選択した列の薬剤感受性結

	果付きで別ウィンドウに表示可能なこと
新規・継続患者リスト	
1	【条件設定】菌を指定が可能なこと
2	新規のみ、継続のみ、新規と継続の選択が可能なこと
3	画面表示・EXCEL 出力が可能なこと
分離推移表	
1	新規/継続、受付検体数/受付患者数の 12 ヶ月間の複合グラフが表示可能なこと
2	画面表示・EXCEL 出力が可能なこと
菌出現者別月内管理	
1	菌指定した菌を検出した患者の 1 ヶ月間の分離状況が表示可能なこと
2	画面表示・EXCEL 出力が可能なこと
入外別検出レポート	
1	【条件設定】菌を指定できること
2	菌指定した菌の検出数と患者数を 入院、外来別に集計した縦棒グラフが表示可能なこと
3	画面表示・EXCEL 出力ができること
月別分離菌頻度	
1	3 ヶ月間に検出した菌株数の多い上位 10 菌種を対象に月毎に集計した円グラフが表示可能なこと
2	画面表示・EXCEL 出力が可能なこと
陽性率	
1	【条件設定】病棟、診療科、入外、材料、材料グループ、受付日（月）、受付日（週）、受付日（年）から 2 つまで選択が可能なこと
2	画面表示・EXCEL 出力が可能なこと
菌出現数	
1	行項目、列項目、改ページの項目を 菌名、菌セット、病棟、診療科、入外、材料、材料グループ、菌量、受付日（週）、受付日（月）、受付日（年）から選択してレイアウトを登録可能なこと
2	%の表示を「列/行/なし」のいずれかを選択が可能なこと
3	横棒グラフと縦棒グラフを表示可能なこと
4	画面表示・EXCEL 出力が可能なこと
5	すべてのレポート画面（グラフ画像以外）の集計値からの詳細データを展開が可能なこと
薬剤感受性率	
1	列項目は薬剤（薬剤セット）のいずれか固定ですが行項目、改ページ項目は、

	菌名、菌セット、病棟、診療科、入外、材料、材料グループ、菌量、受付日（週）、受付日（月）、受付日（年）から選択してレイアウトを登録可能なこと
2	%/数のいずれかを選択が可能なこと
3	横棒グラフと縦棒グラフを表示可能なこと
4	画面表示・EXCEL 出力が可能なこと
5	すべてのレポート画面（グラフ画像以外）の集計値からの詳細データを展開が可能なこと
累積 MIC 率	
1	行項目 2 は薬剤（薬剤セット）のいずれか固定ですが行項目 1、改ページ項目は、菌名、菌セット、病棟、診療科、入外、材料、材料グループ、菌量、受付日（週）、受付日（月）、受付日（年）から選択してレイアウトを登録可能なこと
2	%/数のいずれかを選択が可能なこと
3	折れ線グラフを表示可能なこと
4	画面表示・EXCEL 出力が可能なこと
5	すべてのレポート画面（グラフ画像以外）の集計値からの詳細データを展開が可能なこと
一括出力	
1	院内感染対策画面の各レポート・グラフと菌出現数、薬剤感受性率、累積 MIC 率の独自に作成したレイアウトの一覧より定期的に出力するレポートを設定の上、「一括出力」ボタンを押すと、一つの EXCEL ファイル内に複数シート作成して出力が可能なこと ＊菌出現数、薬剤感受性率、累積 MIC 率は、表のみです（グラフは出力されません）

他メーカー製の場合は、上記と同等とする。

2 ハードウェア詳細

品名	数量
ラックサーバー（UPS1500 含む）	1
サポート PC（Windows 10 Pro (64bit)、インテル® Core™ i5-10500 プロセッサー(3.10 GHz- 最大 4.50GHz ※1/ インテル® スマート・キャッシュ 12MB)相当）	5
液晶モニター	6
ノート PC	1

HUB FS708XL	1
ツイストペアケーブル	10
D-sub9	1
バックアップ装置（システムバックアップ用）	1
A4 モノクロレーザープリンタ	1
カセット 増設用	1
プリンタケーブル	1
バーコードスキャナ	2
ラベルプリンタレスプリ R408 v	1
SQL Server Standard Edition(6 クライアント)	1
セキュリティ USB（ライセンス付き）	7

2 その他

- ・運搬、搬入、調整、設置費用、研修費用等を含む。